

おかやまの美しい海、海ごみクリーンアップ事業

1 事業の概要

瀬戸内海の家ごみは、河川等を通じて流れ込む生活系のごみが大半を占め、海洋環境に影響を及ぼしていることから、県民一人ひとりがごみをポイ捨てしない意識を持ち、発生抑制を図ることが重要である。そのため、県下全域の市町村や、経済団体等と連携して海ごみ対策を実施した。

2 令和4年度実績

①岡山県海ごみ対策県市町村連絡調整会議

当協議会は県、市町村、経済団体等で構成されており、海岸漂着物等（漂着ごみ、漂流ごみ、海底ごみ）の家ごみ対策をより総合的かつ効果的に進めるため、各構成員の取組について情報共有するとともに、瀬戸内オーシャンズXが新設した基金の助成対象団体へ知事から激励を行った。

・令和4年10月6日 @サンピーチ OKAYAMA



激励式



連絡調整会議

②海ごみ・プラごみ削減フォーラム

海ごみ発生抑制の意識の醸成や、海ごみ対策の活性化を図ることを目的として、地区町内会、学生、企業、自治体等による海ごみ対策の取組事例の報告や、モデル事業の報告、基調講演等を行うフォーラムを開催した。

日 時：令和5年2月26日

場 所：岡山国際交流センター 国際会議場

参加者数：120名(会場55名、オンライン65名)



③三大河川流域啓発リレーステップアップ事業

令和元～3年度に行った三大河川流域啓発リレー事業の集大成として、海ごみに対する意識の更なる醸成を図るためのイベント「学んで実践！！瀬戸内ゴミ0作戦」を実施した。

日時：令和4年11月5日（土）

場所：イオンモール岡山 未来スクエア

内容：

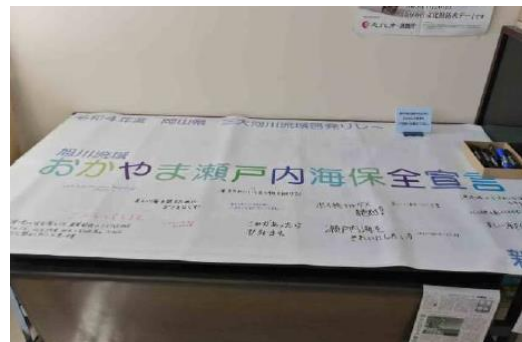
- ・専門家等によるセミナー
- ・海ごみ問題について取り組む中学生、高校生による発表
- ・海ごみクイズ大会
- ・リサイクル楽器づくりブース
- ・海ごみ関係展示

（県内25市町村で作成した海ごみ横断幕の展示）等



また、三大河川流域啓発リレー未実施の2町村においてパネル展示等を行った。

○新庄村（新庄村中央公民館）令和5年1月18日（水）～2月7日（火）



○勝央町（勝央町図書館）

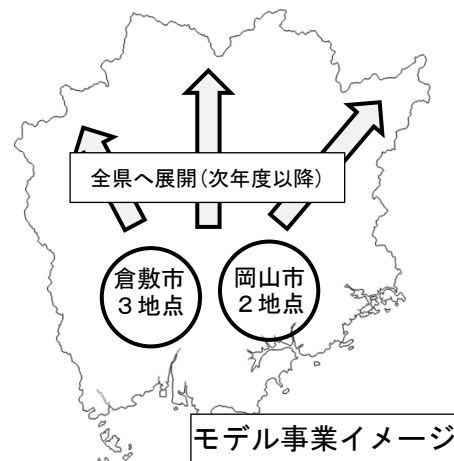
令和5年2月8日（水）～26日（日）



④河川ごみ等回収・発生抑制モデル事業

ごみの回収活動が「自発的」「継続的」に行われるよう、町内会や学校等において、地域の実情に応じたごみ回収活動のシステムづくりを行った。

	モデル	内容
岡山市内	岡山市立 操南中学校	中学校（生徒会及び有志）と地元町内会とで連携 清掃活動を恒例行事化
	岡山大学教育学部 附属中学校	中学校（環境委員会）と地元ボランティア団体とで連携 清掃活動を恒例行事化
倉敷市内	倉敷医療生活協同組合	月に1度の定例会に併せ、清掃活動を行うことを行事化
	新日本婦人の会 倉敷支部	用水路にごみ回収ネットを張り、日常的にごみ回収する体制を構築
	岡山県立倉敷古城池高等学校	学校と水門管理者とで連携 水門にかかるごみを高校生が回収する体制を構築



⑤令和4年度漂着ごみ回収・調査事業

海ごみの削減施策を立案し展開をするためには、漂着ごみの実態把握が必要であるとともに、削減の施策の効果検証について、継続的に調査をすることが必要であることから、県内27か所において漂着ごみの目視調査を実施し、うち3カ所については回収及び組成調査も実施した。

3 担当部署

環境文化部循環型社会推進課資源循環推進班